

S

S

R

山口大学

## 学生特別支援室だより

## News Letter



## 支援機器・技術を上手に活用する

ニューズレター第12号では、第11号に続いて、支援機器や支援技術について紹介します。

最近では、障害等のある学生の修学支援にも有効な、支援機器・支援技術が数多く登場しています。またパソコンやタブレットなど、日ごろから使う端末の機能を活用したり、ソフトやアプリをうまく使ったりする方法もあります。数ある支援機器・支援技術の中から、適切なものをどうやって選ぶのか、今回は、支援機器・支援技術の選び方についても触れつつ、見ることや、読むことをサポートする機器や技術をご紹介します。

何を補う？  
どんな機能？



どんな時に？  
何のために？

## ニーズに応じた支援機器を選ぶ

- ✓ 有効な支援の手段は、障害に由来するニーズに即して選ぶ必要があります。
- ✓ 障害の種類や程度に由来して、具体的にどのような難しさがあるのかを確認できると、その難しさを補うための方法や、代替手段を検討しやすくなります。
- ✓ 支援機器についても、どのようなニーズを想定したものなのか、具体的な難しさに対応するための機能が備わっているのかを確認しながら選びたいところです。

## 目的にあった支援機器を選ぶ

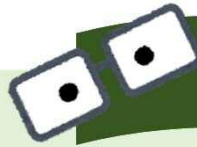
- ✓ 障害に由来するニーズと併せて、どんな時に、何のために必要なのかも重要なポイントです。
- ✓ 必要になりそうな場面や、使いたい場所・頻度などを整理してみると、良いかもしれません。
- ✓ 迷ったら、気軽な方法から試して、使い勝手や有効性を確かめてみる方法もあります。
- ✓ 自分なりに整理したり確認した情報は、支援を組み立てる際の重要な材料にもなります。

場面	授業？試験？研究室？
場所	屋内（狭い・広い）？屋外？
頻度	時々使う？常に使う？
使用方法	携帯する？設置する？ 必要な時に借りる？
使用者	障害等のある学生？ 教職員？他の受講者？

# 「見る」「読む」をサポートする技術

学生特別支援室では、さまざまなニーズに対応できるよう、支援機器を整備しています。

今回は、「見る」「読む」をサポートする機器や技術をご紹介します。



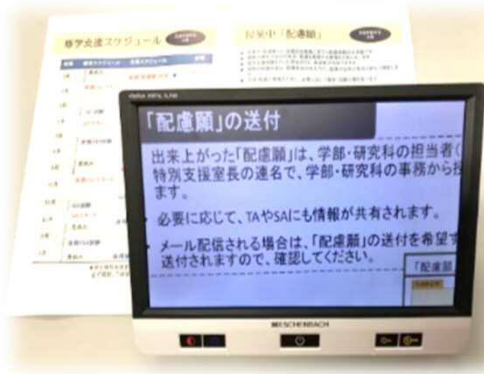
## 「見やすく」する

- 見やすくするためには、大きさを調整する、明るさを調整する、コントラストを調整する、目印をつけるなどの方法があります。
- 「拡大読書器」は、倍率、明るさ、文字と背景の色を調整する機器です。読んでいる箇所を見失わない様にラインを表示したり、映っているものを撮影して保存したりする機能がついているものもあって、便利です。
- 学生特別支援室では用途に応じて使い分けられる様、数種類の拡大読書器を用意しています。

### 拡大読書器①

携帯可能+据置型としても使用できる

!New! 本年度導入



ベースあり



- 見えやすさをサポートする拡大読書器。
- タブレットパソコン大で、持ち運び可能です。
- 「ベース」を用いて、据え置き型の拡大読書器と同様の使い方をすることもできます。
- 撮影した写真を保存し、見やすいように調整することも可能な優れたもの。

じっくり読みたい!

### 拡大読書器②

据置型



- 書籍などを、モニターで確認することができます。
  - 一度に広い範囲を確認することができるので、じっくり読みたいときに適しています。
  - 総合図書館(吉田地区)に設置しています。
- ※Newsletter「第8号」で紹介しました。

気軽に持ち運びたい!

### 拡大読書器③

携帯用



- 読みたい箇所を拡大して小型の画面に映します。
  - コンパクトなので、持ち運びに便利。
- ※Newsletter「第5号」で紹介しました。

### ルーペ



- 虫眼鏡サイズのルーペも携帯しやすい!
- ※Newsletter「第8号」で紹介しました。





# 情報を「変換」する

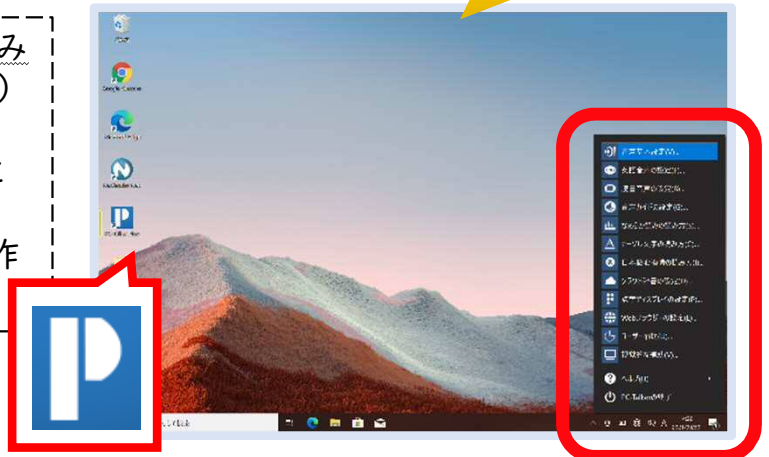
- 見ることが難しい場合は、視覚情報を音声情報や点字に変換することで、内容を確認することができます。
- 電子データがあれば、専用のソフトを使って、簡単に変換することができます。
- 学生特別支援室では、「読み上げソフト」や「点訳ソフト」を活用しています。

## 読み上げソフト

PC talker

音声に変換!

- コンピューターの画面情報を音声で読み上げるソフトウェア(スクリーンリーダー)です。
- テキストデータを読み上げて確認することができます。
- 画面情報を読み上げてくれるので、操作の頼りになります。



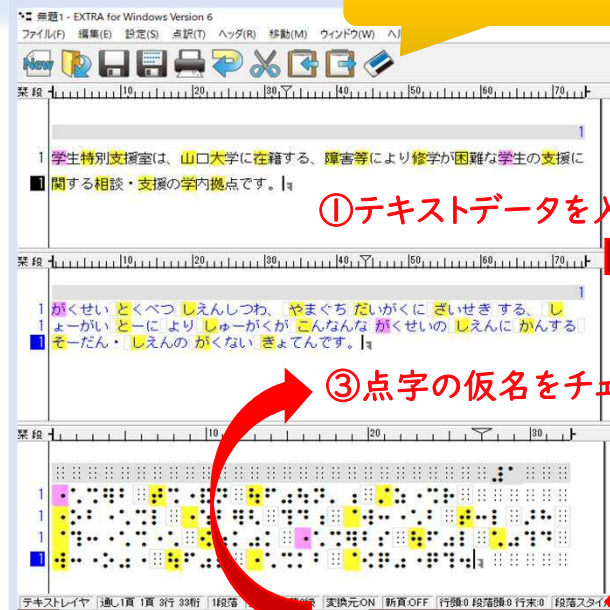
参考:スクリーンリーダーPC-Talker  
<https://aok-net.com/screenreader/>

## 点訳ソフト

EXTRA

点字に変換!

- テキストデータを点字と仮名に変換するソフトです。
- 点字を読めなくても、点訳資料を簡単に作成できます。
- テキストファイル、ワードファイル、PDFファイルなどから、点訳可能です。
- 点訳したデータは、点字印刷したり、点字ディスプレイに表示したりして読みます。



参考:EXTRA for Windows version7  
<http://www.extra.co.jp/extra/index.html>

## 多機能型 点字ディスプレイ

Braille Memo



- 点字文書の読み書きが可能な多機能型点字ディスプレイです。
  - 点字の編集に加えて、テキスト編集も可能です。
- ※Newsletter「第8号」で紹介しました。



# パソコンやスマホでも

- ✓ 特別なソフトや機器でなくても、パソコンやタブレット、スマホで、自分なりの見易さを調整することができます。
  - ◆ 拡大する
  - ◆ カーソルを大きくする
  - ◆ コントラストを調整する
  - ◆ 画面を読み上げる … など
- ✓ 支援機器や支援ソフトの購入に迷ったら、まずは、端末に標準搭載されている機能やフリーソフトを試してみ、満足しなければ専用機器・ソフトの購入を検討してみても良いかもしれません。



《支援ソフト色々》  
他にも…

- ◆ 画面拡大ソフト  
: ZoomText…
- ◆ スクリーンリーダー  
: Focus talk、JAWS…
- ◆ 点訳ソフト  
: Tエディタ、点字編集システム … など…

WindowsPCなら…

設定> 簡単操作

「Windows」+「U」でショートカット!



## 学内で管理している支援機器は、 ホームページでも紹介しています!

- ✓ 学内で管理している支援機器は、学生特別支援室のホームページで紹介しています。
- ✓ 修学上の必要に応じて貸出も可能ですので、貸出希望の方は、学生特別支援室までお問合せください。



《学生特別支援室ホームページ》  
<http://ssr.ssc.oue.yamaguchi-u.ac.jp/>  
> 支援について  
> 支援機器の貸出

### 支援機器の貸出

山口大学では、障害等のある学生のための支援機器を整備しています。山口大学に所属する学生が、修学上必要がある場合に貸出可能です。

#### 学生特別支援室で管理している支援機器

貸出し希望の方は、学生特別支援室にお問合せください。

<学生特別支援室(吉田キャンパス) 共通教育本棟1階>

メール: [shien@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:shien@yamaguchi-u.ac.jp)

電話: 083-933-5256

支援機器	設置場所
<a href="#">筆寫スロープ</a>	学生特別支援室
<a href="#">KakiPen (筆致ボード)</a>	学生特別支援室
<a href="#">ボイスメッセ (助聴器)</a>	学生特別支援室
<a href="#">ホワイトイヤヤー (助聴器)</a>	学生特別支援室
<a href="#">Rooper (補聴援助システム)</a>	学生特別支援室
AVANTEK (イヤーマフ)	学生特別支援室

<協力> 令和3年度SSR学生スタッフ:

田村(人文3年)、川相(農3年)、野上(国際総合3年)、源川(国際総合4年)、児玉(国際総合2年)、大坪(理2年)、石根(経済3年)、森岡(農3年)、藤本(経済4年)、赤尾(経済3年)、川口(人文3年)、浅田(教育2年)、近藤(農2年)、増田(国際総合1年)、江崎(国際総合1年)

## 山口大学 学生特別支援室(SSR)

メインオフィス: 共通教育本館1階

TEL: 083-933-5256

E-mail: [shien@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:shien@yamaguchi-u.ac.jp)



このNewsletterは、山口大学基金の助成により作成されています